



尾花沢小学校新設工事

工事かわら版

第5号
令和8年7月発行

梅雨に入り不安定な天気が続きますが、気温は日を追うごとに高まっています。

小学校建設現場の作業員も熱中症に留意しながら完成を目指しています。市民の皆さまも熱中症に気をつけてお過ごしください。

今後も無災害・無事故を第一として、令和10年4月に子どもたちの笑顔を迎えられるよう、学校建設を進めていきます。



ドローンによる北西側からの空撮。

お蔭さまで各棟とも順調に工事を進めさせていただいています。（令和8年6月24日撮影）

完成後のイメージ図





建設現場を上空から撮影。体育館棟の基礎と校舎棟2工区（5工区中）の基礎のコンクリート打設が完了しています。



交流棟の基礎の掘削。交流棟もいよいよ掘削開始です。



交流棟の基礎の掘削。交流棟の西側は半円形になっているので、掘削作業も手間がかかります。



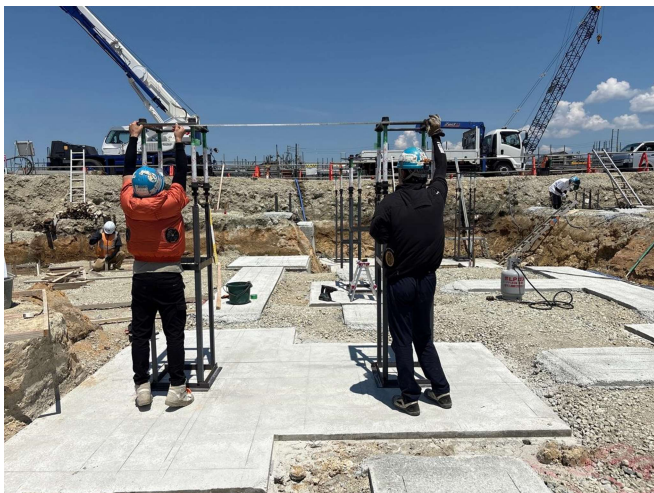
交流棟の基礎。地盤改良工事の施工確認（高さや位置のズレ）を行ってからコンクリートを打設します。



交流棟の基礎。円形部分の均しコンクリート打設も慎重に行います。



交流等の基礎。打設した基礎コンクリートに鉄骨柱のベースの位置を出し、鉄骨のボルトを設置します。



交流等の基礎。鉄骨柱のベースの位置出しには高い精度が求められます。何度も確認し慎重に位置を出します。



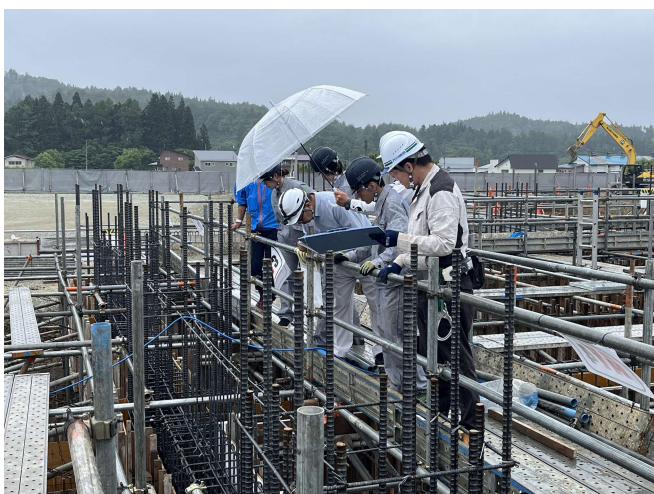
測量器で高さのチェックも行い、鉄骨柱のベース設置作業は完了です。



交流棟の基礎。作業員の通路足場を設置します。



交流棟の基礎。交流棟は西側が円形の建物です。足場の組立ても手間がかかります。



校舎棟の基礎。コンクリート打設前の検査機関による中間検査。基礎は完成後には地面に埋まり見えなくなるものですが、雨の中でもしっかり確認します。



校舎棟の基礎。監理者（注）がコンクリートの品質を確認してから打設を行います。

（注：市の委託を受け、工事を設計図書と照合し設計どおりに実施されているかを確認する技術者です。施工業者とは異なります。）



校舎棟の基礎。2台のポンプ車でコンクリートの打設を行っています。



校舎棟の基礎。コンクリート打設は各担当約 20 人の作業員がチームプレイで慎重に行います。



校舎棟の基礎。コンクリート打設が完了した所から土砂による埋め戻しを行います。



体育館棟の最終の工区の基礎コンクリートを打設しています。



体育館棟の基礎コンクリートの打設が完了し、型枠を外したあと、埋め戻しを行います。

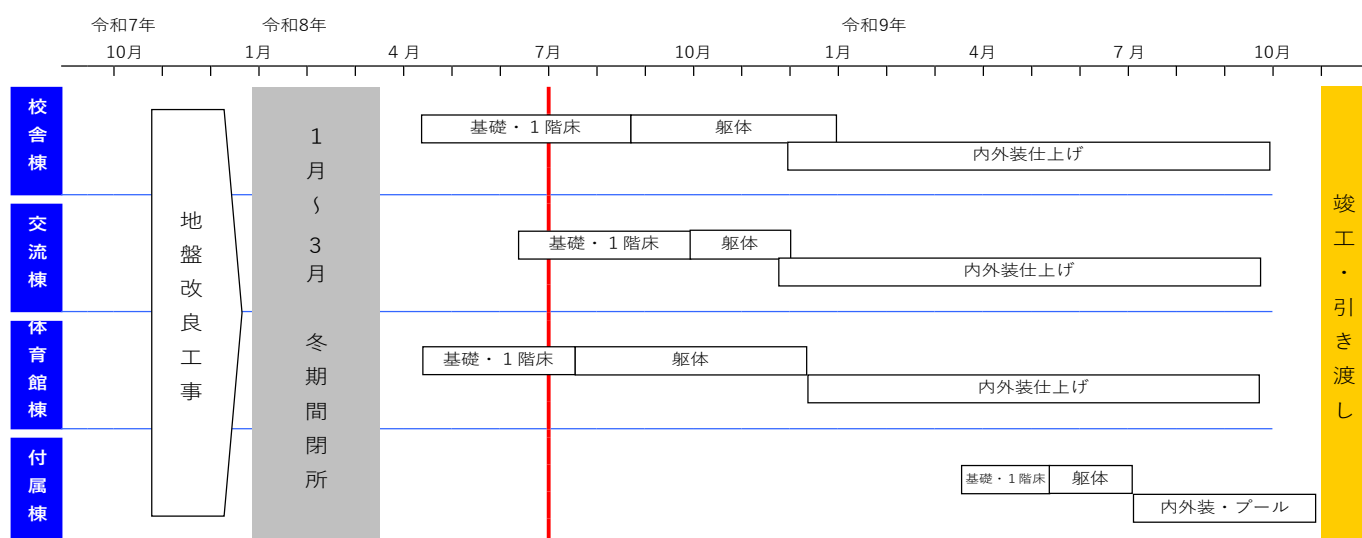


クレーンは資材の搬入で大忙しですが、事故のないよう慎重に作業を行います。



ドローンによる東側上空からの撮影。左側が交流棟、中央が校舎棟、右側が体育館棟です。
(令和8年6月24日撮影)

工事スケジュール



発行 升川建設(株)・(株)新庄鈴木柴田組・本間建設(株) 特定共同企業体

升川建設(株)

西村山郡河北町谷地甲 1083
TEL : 0237-73-2233

(株)新庄鈴木柴田組

新庄市十日町 2760-9
TEL : 0233-32-0770

本間建設(株)

尾花沢市新町四丁目 4 番 6 号
TEL : 0237-22-1527

